

2018年10月22日

三田市長 森 哲男 殿

連合兵庫労働協議会
三田地区協議会
会

三田市に対する要請書

貴職におきましては、益々ご活躍のこととお慶び申し上げます。また、平素は連合三田地区連絡会の活動に対しまして、格別なご高配を賜り深く感謝申し上げます。

我が国の経済・雇用の動向は、春闘で月例賃金のアップを行った企業があるものの、景気の回復がまだまだ実感できる状況にありません。景気を回復するためには、さらなる施策が必要と考えています。

こうした経済環境下にあつて、雇用の確保、社会保障の充実など、地域のセーフティネットとして三田市の果たすべき役割は重要であり、産業・雇用政策、医療・福祉・教育の充実、環境対策、防災・危機管理といった多様な行政需要を市政に反映し、市民本意の施策を遂行するとともに、特に経済・雇用の面では、介護・福祉施策などの政策分野を、雇用確保と結び付けて活性化させるといった取り組みも必要となっています。限られた財源の中で収支のバランスを取りながら、これまで以上に施策の優先順位の明確化と「選択と集中」を図る必要があると考えます。

連合三田地区連絡会では、さらに魅力ある三田市へと発展させていくために、三田市への申し入れ項目をまとめました。森市長におかれましては、これらの項目を市政に適切に反映していただき、魅力あるまちづくりに取り組まれることを要望いたします。

記

1. 税制改革・産業・労働政策の推進

- (1) 中小企業による新卒者の採用を支援するため、兵庫労働局、ハローワーク三田とより連携を図り、積極的に就職面接会等の開催に努めること。さらに、業界団体・共同組合等が共同採用会を開催する場合には、必要に応じて支援を行うこと。
- (2) 三田駅前の再開発や新三田駅周辺のまちづくりにおいては、学生や若者、子連れの家族などが余暇を楽しみ、幅広く交流を図る場として、アミューズメント施設の設置など、若い人が集いさらに活気ある街づくりの実現に向けて検討すること。

2. 雇用の安定と創出

- (1) 第二テクノパークにおいては、雇用促進のために企業誘致がすすめられている。労働人口が増えるにあたり、日常的に発生している周辺の交通渋滞解消に向けて、公共交通機関の充実などの対策を講じること。
- (2) 地域社会の課題を解決するため、コミュニティビジネスへの支援を強化し、地域活性化・雇用創出を図ること。また、その起業においては、地域産業との連携や多様な人的ネットワークが必要となるため、人材の紹介、異業種交流イベントの開催、大学・企業等とのマッチング機能などを充実させること。
- (3) 若年者の失業ならびに、いわゆるフリーター、ニート対策を展開すること。若

年者に対する就職支援、不安定就労者への就職支援を強化すること。

3. 労働基準法など労働関係法違反の一掃とワークルールの確立

- (1) 市や公共関連企業は勿論、一般企業に対してもサービス残業（不払い残業）や賃金不払い、短時間労働者の一方的解雇など労働関係法の周知・徹底、監督を更に強化し、非正規雇用労働者も含め、すべての労働者の労働条件の適正化を促進すること。
- (2) 行政改革の実施などにより、公務員、行政機関、独立法人等に働く者の労働条件、雇用に影響が予想される場合には、必ず事前に関係労働組合との協議、交渉を行い、雇用・労働条件の確保に万全の対策を講ずること。

4. 教育・文化・体育政策の充実

- (1) 一人ひとりの子どもに行き届いた教育を実践するため、市費教職員等の配置改善をはかること。指導員・特別支援教育介助員（自立支援員）・指導補助員等については、児童生徒・学校現場の実態に即した実効的な配置となるよう配置の拡充を実現すること。
- (2) 一人ひとりの児童・生徒が安全で行き届いた生活を送ることができ、また支障をきたすことなく学べる学校設備環境の整備にむけ努力すること。充実した学習活動、円滑な学校運営のため、学校配当予算の増額に努力すること。
- (3) 教職員の駐車場利用については、その業務の特殊性を鑑み使用料金を設定しないこと。

5. ワーク・ライフ・バランス社会の実現と高齢者介護・福祉・子育て支援策の拡充

- (1) 県と連携して、引き続き障がい者の自立支援策に努めること。すべての障がい者が住み慣れた地域の中で暮らせるよう、障がい福祉サービスの基盤整備や、就労支援、障がい福祉サービスを担う人材育成の取り組みを促進すること。
- (2) 高齢者・障がい者等、交通弱者の意見・要望をもとに、交通機関・交通施設におけるバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進すること。また、外出支援等により、社会参加の機会をより持てるような交通網の再編などにも取り組むこと。

6. 男女平等社会実現への取り組み

- (1) 市内事業所等に対しても実質的な男女平等を実現し、事実上生じている男女労働者間の格差を解消する為の企業のポジティブ・アクションを盛り込むこと。また、誰もが自分らしく生きられる社会実現のため、様々な性についての啓発活動を進めるとともに、性的マイノリティの方が暮らしやすくなるための具体策を講じること。
- (2) 各種ハラスメントを起こさない取り組みを三田市として促進させるとともに、公共施設に働く職員はもとより、勤労者や市民に、広く学習の機会を設け、関係機関・団体に対しても参加するよう働きかけること。

7. 地域医療の充実

三田市民病院は「地域医療支援病院」として、「かかりつけ医」と連携しながら地域での適切な医療の提供に貢献しているが、引き続き安全・安心・質の高い医療の提供に向けて取り組むこと。

8. 「安心」「安全」なまちづくりの促進

災害に備えてライフラインの再点検を行うこと。特に三田市は基点となる主要高速道路が複数あり、新名神高速道路も神戸市北区まで開通した。人の移動・物資の輸送においては社会・経済活動を支える基盤として重要な役割を果たしており、市街地形成、防災空間、環境空間、ライフライン等の収容空間としての空間機能を持っているため老朽化した道路等の補修を行うこと。

9. シティセールスへの取り組みと地域の活性化

都市の「魅力の見える化」「イメージUP」「情報発信力向上」等を図り、多くの観光客を誘致するとともに、定住人口増を実現し、都市を活性化させること。

以上